

地域密着型特別養護老人ホーム

愛護苑

広報

・第26号・

2022.3.31

印刷 あべ印刷株式会社

- 発行 社会福祉法人 愛護会 地域密着型特別養護老人ホーム 愛護苑
- 住所 〒023-0132 岩手県奥州市水沢羽田町字水無沢491-3
- TEL 0197-51-6835 ●FAX 0197-51-6836 ●URL <http://aigokai.jp/>
- 責任者 千葉信男 ●E-mail aigoen@aigokai.jp
- 編集 後藤優太 小田島千春 岩城利行 福士翼 今野暢也 山口翔 阿部美由紀 遠藤華蓮



クリスマスツリーの飾り付けをする利用者さん

新年度に向けて

施設長補佐 真柳 信

令和二年度も残すところあとわずかとなりました。昨年度に引き続き、コロナウイルスによって様々な制約を強いられる中での施設運営となりました。利用者さんやご家族の方々、地域のみなさまにとつても大変なご苦労があったことと思います。

コロナ禍の新しい生活様式にも慣れてきたとはいえ、新たな変異株の出現と流行の波を繰り返すウイルスとの戦いはまだ先が見えません。また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や、福島県沖を震源とする大地震の発生など暗いニュースが多く、不安な日々が続いているますが、これから先は明るい社会、平和な世界になつていいくことを心から願います。

さて、今年の六月に愛護苑は開設十周年を迎えます。介護職の人材不足をはじめ、運営の課題はたくさんありますが、これからも利用者さんが安心して生活でき、笑顔の絶えない環境を提供できるように、役職員一同努力していくたいと思います。来年度も皆様のご指導、ご協力ををお願い致します。

クリスマス会



良い音色だな~



特別メニュー美味しいな



クリスマスの特別メニュー



皆で息を合わせて



練習の成果を!



皆でハンドベルを鑑賞

今年最後の大イベント、クリスマス会を行いました。サンタクロースが演奏したのは「きよしこの夜」、「お正月」、「赤鼻のトナカイ」のハンドベル三曲。お昼はクリスマスの特別メニューを美味しくいただきました。

山口 翔

新年の中頃、小正月行事を行いました。ミズキの木に飾り付けをし、お昼には小豆粥をいただきました。今年も一年健康に過ごせますように。

後藤 優太

小正月



小正月行事食



食事撮影に気づく利用者さん



ミズキの木に団子を付ける利用者さん



小豆粥を美味しそうに召し上がる利用者さん



職員と飾り付けをする利用者さん



ミズキの木に飾り付けをしました

節 分



豆まき後に皆さんで写真撮影



お部屋で豆まきをされる利用者さん



豆まきを楽しむ利用者さん



美味しいそうに召し上がってます



鬼は～外！福は～内！
豆まきをされる利用者さん



強そうな鬼もいます…

二月三日に節分行事が行われました。皆さん、楽しんで豆まきをされておりました。お昼には、錦糸恵方巻をいただきました。

岩城 利行

三月三日に愛護苑でひな祭りが行われました。ひな壇前で写真撮影を行いましたが利用者さんから笑顔が見られました。また、利用者さんから「お雛さん綺麗だね」と声が聞かれ、利用者さんも満足していました。また、行事食もおいしいと喜びの声が聞かれました。

今野 暢也

ひなまつり



こちらもお揃いで撮影



お内裏様パネルで撮影



お雛様パネルで撮影しました



職員と笑顔で食事をされる利用者さん



ひなまつり行事食



お内裏様とお雛様で写真撮影

愛護苑の行事食紹介コーナー

愛護苑では季節の行事を大切にし、利用者さんに目で見ても楽しめる食事を提供したいと思い各種行事食に取り組んでいます！今回は冬の行事食をいくつかご紹介します^ ^！

栄養士 小野寺 彩

♪クリスマス



皆様待ちに待ったクリスマス！
今回はアンケート形式で利用者様
方が食べたいメニューを取り入れ
ました。

♪大晦日



今年も一年元氣で過ごせた喜び
と、新しい年も楽しく元気に過ご
せますようにとの願いを込めて
少々豪華な海鮮丼＆年越しそばの
メニューを提供しました。デザート
には手作りのモンブランケーキ
も提供しています。

♪節分



恵方巻をイメージし、海苔ではなく歯
切れのよい卵のシートを使用して巻きす
しを作りました。また、鬼を追い払うと
いういわしを使用したハンバーグ、碎いた
大豆を使用した吳汁も一緒に提供して
います。当日は鬼もやってきて豆まきを行
い節分の雰囲気を存分に味わっていた
だけたかなあと思います。

のどの老化ストップ！

のどが老化すると誤嚥しやすくな
るのは、喉の複雑な構造と役割が関
係しています。のどには「呼吸す
る」「食べ物を飲み込む」「発声す
る」という三つの役割があります。
誤嚥が生じる原因であるのどの複
雑な構造「気道と食道の交差」を解
消するために、気道と食道を完全に
分離する「喉頭気管分離術」という
手術があります。嚥下機能障害が高
度で回復の可能性が少ない場合に検
討されます。

誤嚥性肺炎を繰り返す、特に高齢
の患者さんは極めて稀でしょから、ご
自分でのどを鍛えることで、のど年
齢を若く、保つていただきたいです。
そこまで重症にならないうちに行
つていただきたいのが「のどトレ」で
す。ご自分の力で、誤嚥を予防する
ことが可能なのです。

読売新聞
大谷義夫 のどの老化ストップ！
より抜粋

医務から 健康トピック



今年度の防災訓練まとめ

防災委員会では地震、水害・土砂、夜間帯、非
常に想定した訓練を提案、実施しています。
者の方に指導して頂きながら初期消火訓練も行
っています。

防災委員長 高橋 知美



消火器を用いた消火訓練の様子

編集後記

新年を迎え、早くも三ヶ月が経ちました。依然
として新型コロナウイルスが猛威を振るつており、
油断できない日々が続き皆さんお疲れだと思いま
す。今一度体調管理や感染対策を徹底して新年度
も健康に過ごしていきたいですね。業界の方に指
導して頂きながら初期消火訓練も行つています。
新年度も広報誌やユニットブログを通して
たくさんの方に活動や情報を伝えしていくよう努
めています。

(広報委員一同)